

**NBD-520J 電源**

**取扱説明書**

**JRC 日本無線株式会社**

お買い上げいただきましてありがとうございます。

この製品の性能を十分に発揮させていただくとともに誤操作等による破損・故障を起こさないように、お使いになる前にはこの説明書をよくお読みいただくようお願いいたします。

この製品は厳重な品質管理のもとに生産されております。万一輸送中の事故等による破損、又は正常に動作しないことがございましたら、早目にお買い上げいただきました販売店または当社まで御連絡をお願いいたします。

### 1. ご使用前に

NBD-520Jには下記のものが付属しておりますので予めお確かめ下さい。

- 取扱説明書……………1部
- AC入力ケーブル(約2m)…1本
- 保証書……………1部
- ヒューズ(10A)…2本
- ヒューズ(5A)…3本

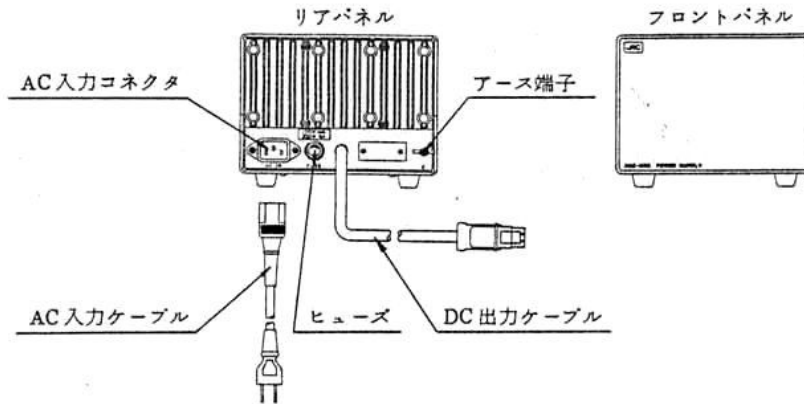


図 2.1 NBD-520J各部の名称

### 2. 使用方法

各部の名称を図 2.1 に示します。

図 2.2 に示すようにトランシーバ本体のPOWERスイッチがOFFであることを確認してからDC出力ケーブルを接続してください。(このときにはトランシーバに付属して

いる電源ケーブルは使用しません。)本機の電源ON/OFFはトランシーバのPOWERスイッチでリモートコントロールされます。

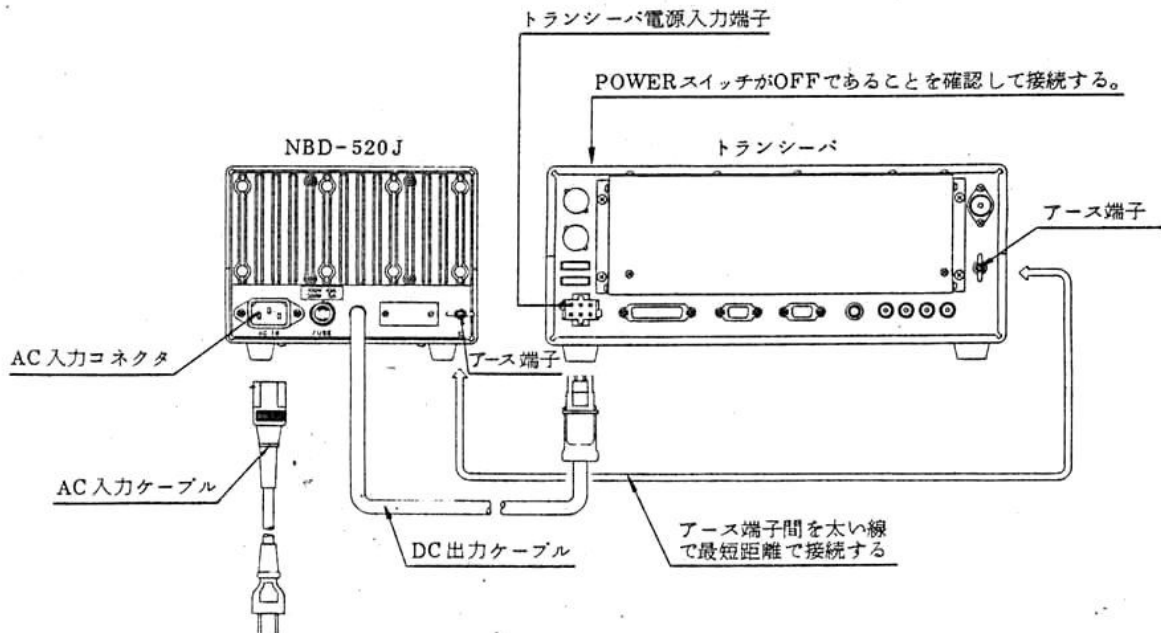


図 2.2 NBD-520Jとトランシーバの接続方法

### 3. 取扱上の注意

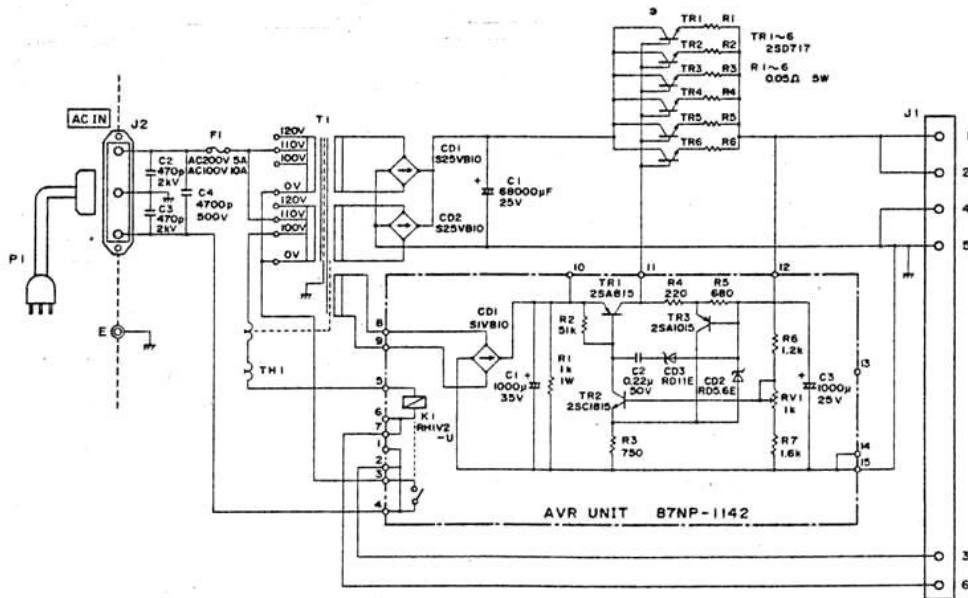
- 出力端子をショートしたり、過負荷にして規定以上の電流を流しますとヒューズが切れることがあります（ヒューズが切れた場合にはAC入力ケーブルをコンセントから外して原因をよく確かめた上で交換してください）。
- NBD-520Jのトランスは内部にサーマルスイッチを内蔵しておりトランスの温度が異常に上昇しますと自動的にOFFになり、冷えると再び自動的にONに復帰します。サーマルスイッチが動作するような使用方法は負荷が重すぎますので負荷電流を減らすか長時間の運用を避けるなどの配慮をしてください。
- できるだけ通風の良い位置に設置しケースの上面に物を置くことはさけてください。
- 高周波の回り込みを防ぐためアース線は太い線で最短距離で接続することをおすすめします。
- ヒューズは定格以外のものを絶対に使用しないでください。

### 4. 保守

- ヒューズが切れた場合にはAC入力ケーブルをコンセントから外し原因を確かめた上で交換してください。
- 特に保守の必要はありませんが万一調整が必要な場合およびトラブル等の場合は保証書、お買い上げ伝票等を添えてお買い上げいただきました販売店までお申しつけください。

### 5. 定 格

定格入力電圧	AC100V±10% .50/60Hz
定格出力電圧	DC13.8V マイナス接地
定格出力電流	30A (断続使用)
電圧変動率	±5%以下
電圧変動	(AC入力+8%, -10%変化, 出力22A一定にて)
負荷変動	10%以下 (AC入力一定, 出力電流4~37Aにて)
リップル電圧	0.1Vpp以下 (AC入力92V, 出力電流30Aにて)
保護方式	トランス温度検出:サーモスタット 出力短絡保護
消費電力	約740VA (出力30A時)
使用温度範囲	0~40℃
寸 法	幅180(180)×高さ130(145)× 奥行き273(327)mm ( )内は突起物を含む(ケーブルは除く)
重 量	約9kg



注：回路は改善のため予告なく変更する場合があります。

NBD-520J電源接続図

